

各 位

上場会社名 共同ピーアール株式会社  
 代表者 代表取締役社長 上村 巍  
 (コード番号 2436)  
 問合せ先責任者 取締役経営企画室長 信澤 勝之  
 (TEL 03-3571-5172)

## 平成25年12月期通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

平成25年8月12日に公表いたしました平成25年12月期通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成25年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,786	△182	△182	△135	△110.08
今回修正予想(B)	4,018	△101	△99	△57	△46.40
増減額(B-A)	231	81	83	78	
増減率(%)	6.1	44.4	45.4	57.8	
(ご参考)前期実績 (平成24年12月期)	4,256	108	114	18	15.27

平成25年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,164	△194	△193	△140	△114.52
今回修正予想(B)	3,406	△94	△95	△70	△56.97
増減額(B-A)	241	99	97	70	
増減率(%)	7.6	51.1	50.5	50.2	
(ご参考)前期実績 (平成24年12月期)	3,780	90	95	4	3.77

#### 修正の理由

共同ピーアール株式会社個別の、上半期における大幅な売上減少を受けて、下半期では、リテイナーを中心に新規顧客の開拓及び既存顧客の深耕に注力するとともに、経費、人件費の削減を実施し、組織体制の変更を含めた社内構造改革を推し進めてまいりました。このような状況において、アベノミクス効果による景気回復が追い風となり、問い合わせや引き合いが増加、減少傾向にあったリテイナー顧客数は順調に回復し、スポット&オプション及びペイドパブリシティの受託件数も増加いたしました。以上のとおり、全セグメントにおいて売上高が計画値を上回り、利益についても、赤字幅が減少いたしました。

一方、連結子会社については、原価や販管費の増加により、利益は計画を下回ったものの、売上高はほぼ予算通りで推移いたしました。

以上の結果、連結・個別共に、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益を上方修正いたしました。

以 上